

相続等に係る生命保険契約等に基づく  
年金の雑所得の金額の計算書(本表)

納税地

氏 名

## 1 保険契約等に関する事項

年金の支払開始年	①	_____年	年金の残存期間等 (別表1により求めた年数)	②	_____年
年金の支払総額(見込額) (別表1により計算した金額)	③	円	年金の支払総額(見込額) に占める保険料又は掛金の 総額の割合	④	%

## 2 所得金額の計算の基礎となる事項

年金の残存期間等に応じた割合 (右表により求めた割合)	⑤	%
(③×⑤)	⑥	円
年金の残存期間等に応じた単位数 (別表4により計算した単位数)	⑦	単位
1単位当たりの金額 (⑥÷⑦)	⑧	円

(表) 年金の残存期間等に応じた割合

②の年数	⑤の割合
5年以下	30%
6年以上10年以下	40%
11年以上	100%

## 3 各年分の雑所得の金額の計算

申告又は更正の請求 を行う年分	⑨	年分	年分	年分	年分	年分
(⑨－①＋1) (注1)	⑩					
単位数 (⑩－1) (注2)	⑪	単位	単位	単位	単位	単位
支払年金対応額(⑧×⑪)	⑫	円	円	円	円	円
年金が月払等の場合	⑬					
剰余金等の金額	⑭					
総収入金額 (⑫又は⑬)＋⑭	⑮					
必要経費の額 (⑫又は⑬)×④(注3)	⑯					
雑所得の金額 (⑮－⑯)	⑰					

(注)1 【⑨の年号が「平成」の場合】

①の年号が「昭和」のときは、「⑨＋64－①」を書きます。

【⑨の年号が「令和」の場合】

①の年号が「平成」のときは、「⑨＋31－①」を、「昭和」のときは、「⑨＋94－①」を書きます。

また、「⑨－①＋1」(又は、「⑨＋64－①」、「⑨＋31－①」若しくは「⑨＋94－①」)が、②の年数を超える場合は、②の年数を書きます。

2 「⑩－1」が、②の年数に応じた次の上限を超える場合は、その上限を書きます。

②の年数	上限	②の年数	上限	②の年数	上限
11年から15年	②－2	26年から35年	②－14	56年から80年	26
16年から25年	②－6	36年から55年	②－29	—	—

3 「⑨－①＋1」(又は、「⑨＋64－①」、「⑨＋31－①」若しくは「⑨＋94－①」)が、②の年数を超える場合は、「0」と書きます。また、⑬の金額の記載がある場合には、別紙の書き方を参照してください。